

41 ひらかむらちゅうぜんじだいはんにゃきょう
平賀村中善寺大般若経



指 定 市有形文化財 昭和49年12月 1日
所在地 平 賀
所有者 中 善 寺



この大般若経600巻は、もと小海町松原神社の神宮寺・藤島山神光寺にあったものであるが、明治初年における廃仏毀釈（はいぶつ きしゃく 神仏分離令）の際に、平賀村の有志が買い取って、中善寺に納めたものである。

この大般若経は全部が和製で、奥書によれば吉野朝の延文3年（1358）から、戦国時代の弘治4年（1558）に至る、およそ200年間に順次整えられて、600巻がそろったもので、刊行本と筆写本が混じっており、多数の僧俗の信仰心の結晶ともいふべき、特異の形態を備えた大般若経である。

600巻の内訳は、刊行本が234巻、筆写本366巻で、うち刊行本の224巻と筆写本189巻には、奥書または何らかの註の類が記されているが、他の187巻（刊行本10巻・筆写本177巻）には奥書を欠いている。